

# 横浜

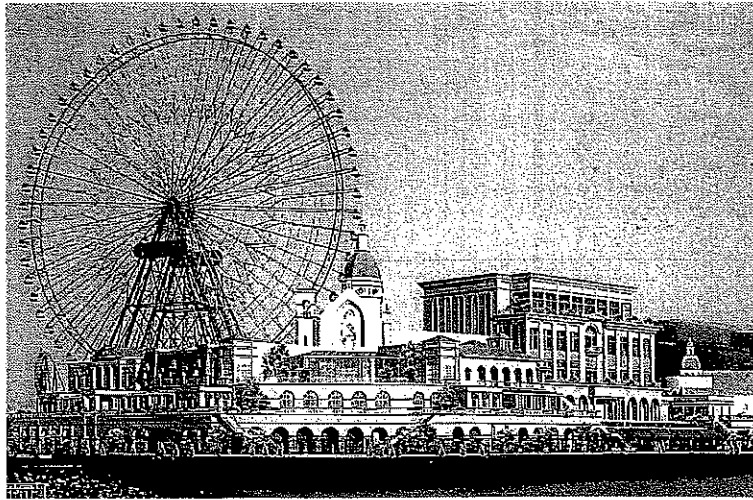
横浜総局  
〒231-8504  
横浜市中区日本大通15  
☎ 045-681-6101  
fax 045-641-9696  
mail kanagawa@asahi.com

田園都市支局  
〒225-0011  
横浜市長谷区あざみ野2-12-5  
☎ 045-904-9010  
fax 045-904-9020

川崎 ☎ 044-244-4306  
厚木 ☎ 046-221-3300  
湘南 ☎ 0466-26-4911  
横浜質 ☎ 046-822-0211  
鎌倉 ☎ 0467-22-0123  
小田原 ☎ 0465-22-8758  
相模原 ☎ 042-752-3150  
平塚 ☎ 0463-35-3246

## 欧風の結婚式場に景観論争

「アニヴェルセル みなとみらい横浜(仮称)」の完成予想図



### 新港地区 市審議会「計画、調和取れぬ」

赤レンガ倉庫や汽車道が残る横浜市中区の新港地区に持ち上がった結婚式場の建設計画。業者が示した欧風スタイルのデザインに、市都市美対策審議会から「調和がとれない」と異議が噴出し、景観論争になっている。

予定地は中区新港2丁目の約1万8千平方メートル。横浜ワールドポーターズに向かって、大観覧車の足元だ。紳士服の「AOKI(アオキ)ホールディングス」(本社・横浜市都筑区)の子会社「アニヴェルセル」が2013年秋の開業をめざす。高さ45層の塔と二つのチャペルをもつ国内最大規模の5階建て施設を建設

する計画という。新港地区は近代港湾発祥の地。条例に基づいて都市景観協議地区に指定され、施設など建築する場合、景観の観点から市側との協議が必要な地域だ。

協議に先立ち1月、都市美審議会の景観審査部会に計画がはかれると、有識者や建築家の委員から「産業遺産が集積する横浜にとって極めて重要な地区。全く歴史の継承になつてない」「新港のテイストと合わせてほしい」など厳しい意見が相次いだ。

審議会に法的拘束力はないが、部会は、大幅な計画の見直しを求めた。5日の市議会でも取り上げられ、小松崎副市長は「審議会の意見を十分に踏まえ、よい街並みができるように協議

を進めている」と答弁した。審議会委員の一人、横浜市大特別契約教授の国吉直行氏は「新港地区は赤レンガを中心とした個性的な景観づくりを進め、歴史遺産と調和を図るよう各施設の協力を

や配慮を得てきた。我々の意見を理解してもらえるか注目している」と話す。アニヴェルセルの広報担当は「審議会の意見を真摯に受け止め、市と協議を進めている」と説明している。(佐藤善一)